

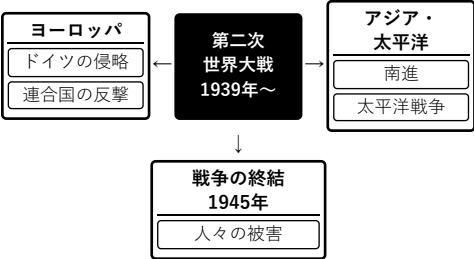
1 全体像	2・3 大戦の始まり	4・5 太平洋戦争	6・7 戦時下の人々	8・9 戦争の終結	10 原因と影響	11・12 まとめ
-------	------------	-----------	------------	-----------	----------	-----------

1 この単元の全体像 ― 日本は、どのように戦争に突き進み、戦争は何をもたらした？

このページのゴール
 第二次世界大戦の始まりから終わりまでの流れと、この単元で学ぶ4つのことを、ざっとと言える

②前半では、世界恐慌のあと、ドイツ・イタリアでファシズムが広がり、日本は満州事変から日中戦争へ進んだことを学びました。1939年、ドイツの侵略（しんりゃく）によって、ヨーロッパで大戦が始まり、日本も1941年にアメリカ・イギリスとの戦争を始めて、戦争は世界中に広がりました。1945年、日本は降伏（こうふく）しました。この単元では、1939年から1945年までを学びます。

1939年	1940年	1941年	1942年
ドイツがポーランドに侵攻（しんこう）・第二次世界大戦が始まる（2）	日独伊三国同盟（4）	日ソ中立条約・太平洋戦争が始まる（4・5）	ミッドウェー海戦（5）
1943年	1944年	1945年	
イタリアが降伏・学徒出陣（がくとしゅつじん）（6・8）	サイパン島が占領（せんりょう）される・学童疎開（そかい）（6・8）	沖縄戦・ドイツが降伏・原子爆弾の投下・ポツダム宣言（せんげん）を受け入れる（8・9）	



- ① 大戦の始まりと広がり
 ぐわしくは2・3ページ
- ドイツの侵略で始まった大戦が、世界中に広がったわけを学びます。
- ② 太平洋戦争の開始
 ぐわしくは4・5ページ
- 日本が南へ軍を進め、アメリカ・イギリスとの戦争になったわけを学びます。
- ③ 戦時下の人々
 ぐわしくは6・7ページ
- 戦争の中での、国民や植民地・占領地の人々のくらしを学びます。
- ④ 戦争の終結
 ぐわしくは8・9ページ
- 戦場が日本に近づき、降伏で戦争が終わるまでを学びます。

この単元の問い
 日本は、どのように戦争に突き進み、戦争は何をもたらした？（答えは10～12ページ）

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/)
<https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad3%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e4%b8%96%e7%95%8c%e6%81%90%e6%85%8c%e3%81%a8%e7%ac%ac%e>

2 ドイツは、どのように戦争を始めた？

このページのゴール 独ソ不可侵条約とポーランド侵攻の順で、第二次世界大戦の始まりを言える

① なぜドイツは、領土を広げようとした？

ナチスのドイツは、第一次世界大戦のあとの講和条約であるベルサイユ条約（①で学びました）を破棄（はき）し、軍備を広げました。そして1938年にオーストリアを併合（へいごう）。ほかの国を自分の国の一部にすることし、チェコスロバキアの一部も手に入れました。世界恐慌のあと、植民地の少ないドイツは、不景気からぬけ出すために、資源や物を売る先となる新しい領土を求めたのです（10ページ）。

② 1939年、戦争はどのように始まった？

独ソ不可侵条約（どくそふかしんじょうやく）＝1939年8月、ドイツとソ連が結んだ、たがいに攻めないという約束

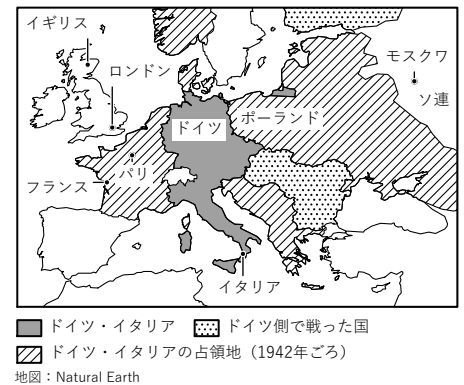
- ① 8月 ドイツが、東のソ連と独ソ不可侵条約を結ぶ（ポーランドを攻めても、ソ連と戦わずにすむ）
- ② 9月1日 ドイツがポーランドに侵攻する
- ③ 9月 イギリスとフランスが、ドイツに宣戦（せんせん。戦争を始めると宣言すること）する（17日には、ソ連もポーランドの東部に侵攻した）

第二次世界大戦＝1939年、ドイツのポーランド侵攻にイギリスとフランスが宣戦して始まった戦争

③ 1940年、ドイツの勢力はどこまで広がった？

1940年、ドイツは、デンマーク・ノルウェー・オランダ・ベルギーを占領し、6月にはパリを占領して、フランスを降伏させました。イタリアもドイツの側で参戦しました。イギリスは、チャーチル首相のもとで戦い続けました。右の地図は、ドイツの勢力が最も広がった1942年ごろのようすです（ソ連への侵攻は3ページ）。

注意 × 第二次世界大戦は、日本の真珠湾攻撃で始まった → ○ 1939年のドイツのポーランド侵攻で始まった（太平洋戦争は1941年。5ページ）



合言葉 「条約で東を安心、そしてポーランドへ」

→ まとめ：ドイツの侵略で、ヨーロッパで大戦が始まった

3 戦争は、なぜ世界中に広がった？

このページのゴール 枢軸国と連合国の国々と、連合国がこの戦争を何に対する戦いとしたかを言える

① 1941年、戦争は広がっていった

- ① 6月 ドイツが、独ソ不可侵条約を破ってソ連に侵攻する（独ソ戦）。ソ連は、イギリスの側で戦うことになる
- ② 8月 アメリカとイギリスの首脳が、**大西洋憲章**を発表する
- ③ 12月 日本がアメリカ・イギリスと戦争を始め（4・5ページ）、ドイツ・イタリアもアメリカに宣戦する → 戦争が世界中に広がる

大西洋憲章（たいせいようけんしょう）＝1941年8月、アメリカのローズベルト大統領とイギリスのチャーチル首相が発表した、戦争の目的を示す文書（憲章＝大切な決まりや目的を書いたもの）

① 領土を広げない ② 国の政治のあり方は、その国の人々が決める ③ 戦後の平和のしくみをつくる

② 2つの陣営（じんえい）

枢軸国（すうじくこく）＝日本・ドイツ・イタリアなどの側の国々 連合国＝アメリカ・イギリス・ソ連・中国などの側の国々

	枢軸国	連合国
国々	日本・ドイツ・イタリアなど	アメリカ・イギリス・ソ連・中国など
かかげたこと	日本は「大東亜共栄圏」をつくることをかかげた（5ページ）	この戦争を、 ファシズムに対する（民主主義を守る）戦い とした

③ ドイツの占領地で起こったこと

ドイツは占領地で、ユダヤ人などを**強制収容所**（きょうせいしゅうようじょ。人々の自由をうばって集めておく施設）に送り、アウシュビッツなどで多くの人々を殺害（さつがい）しました。占領された国々では、ドイツに対する**抵抗運動**（ていこううんどう。**レジスタンス**）が起こりました。

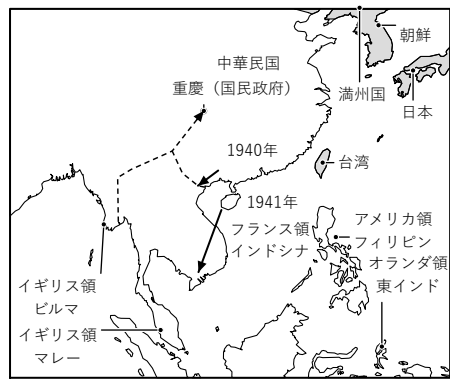
合言葉 「枢軸はドイツ・イタリア・日本」

→ まとめ：戦争は、枢軸国と連合国が戦う世界の戦争になった

4 日本は、なぜ東南アジアへ軍を進めた？

このページのゴール 日本が南へ進み、アメリカとの対立が深まった流れを言える

① 日中戦争は、なぜ長引いた？



■ 日本と植民地（朝鮮・台湾）・満州国
→ 日本軍が進んだ所 --- 援蒋ルート
地図：Natural Earth

日中戦争が長引いた理由の一つは、アメリカやイギリスが、重慶（じゅうけい）の国民政府に物資を送って助けたことです。

援蒋ルート（えんしょうルート）＝アメリカ・イギリスが、蒋介石の国民政府に物資を送った道（地図の破線）

② 日本は、なぜ南へ進んだ？

南進（なんしん）＝日本が、東南アジアへ軍を進めること。ねらいは、援蒋ルートを断ち、石油やゴムなどの資源を得ること

ドイツがフランスやオランダを破ったことも、植民地へ進む機会と考えられました。

③ 1940年に起こった2つのできごと

時期	できごと	ようす
1940年9月	フランス領インドシナの北部に軍を進めた	今のベトナム・ラオス・カンボジアにあたる地域。南進の最初の一步
1940年9月	日独伊三国同盟を結んだ	日本・ドイツ・イタリアが結んだ軍事同盟。アメリカに対抗しようとした → アメリカとの関係が悪化

④ 1941年、対立はどう深まった？

- ① 4月 ソ連と日ソ中立条約（たがいに攻めず、相手の戦争に加わらない約束）を結び、北方の安全を確保する
- ② 7月 フランス領インドシナの南部に軍を進める
- ③ 8月 アメリカが日本への石油の輸出を禁止する。イギリス・オランダも日本との貿易を制限する

日本は、石油の多くをアメリカからの輸入にたよっていました。ある物を輸入にたよる国は、いちばん多い輸入先から輸出を止められると、その物が足りなくなります。日本の軍部は、アメリカ（America）・イギリス（Britain）・中国（China）・オランダ（Dutch）が日本を囲んでいるとして「ABCD包囲陣」（ほういじん）とよび、戦争で打ち破るしかないと主張しました。

→ まとめ：日中戦争が長引き、資源を求めて南へ進んだことで、アメリカとの対立が深まった

5 太平洋戦争は、どのように始まり、広がった？

このページのゴール 日米交渉から真珠湾攻撃までの流れと、日本が東南アジアを占領したねらいを言える

① 日米交渉から開戦へ

アメリカとの交渉（日米交渉）が続きましたが、アメリカは、日本が中国とフランス領インドシナから軍を引き上げることを求め、まとまりませんでした。

- ① 10月 陸軍の大將の**東条英機**（とうじょうひでき）が首相になり、戦争を決める
- ② 12月8日 日本軍が、イギリス領の**マレー半島**に上陸し、ハワイの**真珠湾**（しんじゅわん）のアメリカ軍の基地を奇襲（きしゅう。不意をつく攻撃）する
- ③ 12月8日 **太平洋戦争**が始まる（日中戦争は続いたまま）

② 日本は、なぜ東南アジアを占領した？

大東亜共栄圏（だいとうあきょうえいけん）＝欧米の植民地支配からアジアを解放し、**日本を中心にアジアの国々が共に栄える、として日本がかかげたもの**

日本軍は、開戦から約半年で、フィリピン・マレー半島・オランダ領東インド（今のインドネシア）・ビルマ（今のミャンマー）など、東南アジアから南太平洋にかけての広い地域を占領しました。
日本は、石油・鉄鉱石・ボーキサイト（アルミニウムの原料）などを国内では少ししか産出（さんしゅつ）できず、輸入にたっていました。東南アジアには、これらの資源が多くあります。



— 日本の勢力範囲が最も広がったところ（1942年）

★ 1941年12月8日に攻撃した所
（ハワイの真珠湾とマレー半島）

地図：Natural Earth



真珠湾の攻撃で燃えるアメリカの戦艦
（1941年12月 ハワイ）

写真：作者不明（アメリカ国立公文書館）
（パブリックドメイン）。Wikimedia
Commons より、白黒にして切り取った

③ 戦争の流れが変わった

1942年6月、**ミッドウェー海戦**（かいせん）で日本の海軍が敗れ、戦争の流れが変わりました。その後、アメリカ軍が反撃を強めました（ガダルカナル島など）。

注意 × 太平洋戦争は、日中戦争が終わってから始まった → ○ 日中戦争は続いたまま、アメリカ・イギリスとも戦った

→ まとめ：資源を求めて南へ進み、アメリカ・イギリスとの戦争になった

1 全体像	2・3 大戦の始まり	4・5 太平洋戦争	6・7 戦時下の人々	8・9 戦争の終結	10 原因と影響	11・12 まとめ
-------	------------	-----------	------------	-----------	----------	-----------

6 戦争は、国民のくらしをどう変えた？

このページのゴール 国民が戦争に動員され、くらしが苦しくなったようすを、学徒出陣・勤労動員・疎開などの語で言える

① 国民全体が戦争に動員された

総力戦（そうりょくせん）＝国民全体と全部の産業を、戦争に注ぎこむ戦い

戦争が長引くと、生活に必要な物が足りなくなりました。配給制（②前半）の品が増え、量も減りました。鍋（なべ）・釜（かま）や寺の鐘などの金属が回収され（**金属の供出**。きょうしゅつ。国のためにさし出すこと）、武器の材料にされました。1941年、小学校は**国民学校**になりました。新聞やラジオは政府の発表だけを伝え、戦いに負けても、国民に正しく知らされないことが多くありました。

Hさんの祖母が国民学校に通っていたころ（架空の例）：家では鍋や釜が集められ、配給の米も少なくなりました。学校では、先生が新聞の発表を読みあげますが、負けた戦いのことは国民に知らされていませんでした。

② 若い人たちは、どのように動員された？

だれが	何をしたか	なぜ
中学生・女学生	勤労動員 （きんろうどういん）：授業のかわりに、軍需（ぐんじゅ）工場などで働いた	戦争に必要な物をつくる働き手が足りなくなったため
文科系の大学生など	学徒出陣 ：1943年から、それまで兵役（へいえき。軍隊に入る義務）を猶予（ゆうよ。のばすこと）されていた学生が、軍隊に召集（しょうしゅう。呼び集めること）された	戦争が長引き、兵を増やす必要があったため
都市の国民学校の子ども	学童疎開 （集団疎開）：1944年から、学校ごとに地方の寺や旅館などに移って暮らした	空襲（8ページ）をさけるため

注意 × 学徒出陣は、中学生や女学生が工場働いたことをいう → ○ 学徒出陣は大学生などが軍隊に入ること。中学生・女学生が工場働いたのは勤労動員

合言葉 「学生は 工場へ戦場へ、子どもは地方へ」

→ まとめ：国民全体が戦争に動員され、くらしは苦しくなった

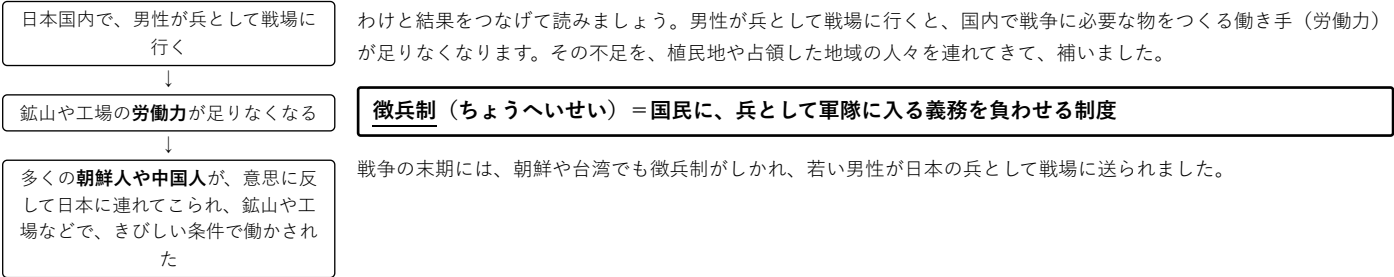
7 植民地や占領地の人々は、戦争でどうなった？

このページのゴール 朝鮮・台湾や東南アジアの人々も戦争にまきこまれたことを、労働や徴兵の例で言える

① 朝鮮・台湾の人々

日本の植民地だった朝鮮や台湾では、皇民化政策（②前半）がいつそう進められました。②前半で学んだように、日本語の使用や神社への参拝がおしつけられ、朝鮮では日本式の名前に変えさせる創氏改名も行われました。

② なぜ、朝鮮人や中国人が日本に連れてこられたの？



③ 東南アジアの占領地では？

日本は、占領した東南アジアの各地で、日本語の教育や神社への参拝をおしつけ、人々に労働をさせたり、食料や物資を取り立てたりしました。その結果、日本の支配への反感が強まり、各地で抵抗運動が起こりました。

日本がかかげたこと（大東亜共栄圏）	実際
欧米の植民地支配から、アジアを解放する	日本語の教育や神社への参拝をおしつけた
日本を中心に、アジアの国々が共に栄える	人々に労働をさせ、食料や物資を取り立てた

かかげたことと実際のちがいが、抵抗運動につながりました。言葉と行いを分けて読む見方は、歴史の資料を読むときにも使えます。

④ 植民地と占領地をくらべる

	植民地（朝鮮・台湾）	占領地（東南アジア）
おしつけたこと	日本語の使用・神社への参拝（朝鮮では創氏改名）	日本語の教育・神社への参拝
戦争への動員	朝鮮人などが日本に連れてこられて働かされた。戦争の末期には徴兵制	労働をさせられ、食料や物資を取り立てられた

→ まとめ：植民地や占領地の人々も、戦争にまきこまれた

8 戦争は、どのように日本の本土にせまった？

このページのゴール サイパン島の占領から空襲・沖縄戦までの流れと、住民がまきこまれたことを言える

① ヨーロッパでは、ドイツが追いつめられた

1943年9月にイタリアが降伏しました。1944年6月には、連合国軍がフランス北部のノルマンディーに上陸し、ドイツへの反撃を強めました。ドイツの降伏は1945年5月です（9ページ）。

② 太平洋では、日本の本土が空襲を受けた

1944年7月、サイパン島（5ページの地図）がアメリカ軍に占領され、日本の本土がアメリカ軍の爆撃機のとどく範囲に入りました。そのため、1944年の終わりから、日本の都市への空襲（くうしゅう。飛行機から爆弾を落とす攻撃）がはげしくなりました。

1945年3月10日の東京大空襲では、焼夷弾（しょういだん。火事を起こす爆弾）で東京の下町が焼かれ、一夜で多くの人が亡くなりました。大阪・名古屋など、全国の多くの都市が空襲を受けました。



空襲で焼けた東京の町
(1945年 東京の両国のあたり)
写真：作者不明（パブリックドメイン）。Wikimedia Commons より、白黒にした

③ 沖縄で、住民をまきこむ戦いが起こった

1945年3月末、アメリカ軍が沖縄の島々に上陸し、4月1日に沖縄本島に上陸しました。住民をまきこむはげしい地上戦（沖縄戦）が約3か月続きました。中学生や女学生も、兵や看護の仕事に動員され（女学生の看護の部隊の一つがひめゆり学徒隊）、多くの住民が犠牲（ぎせい）になりました。6月23日に、日本軍の組織的な戦いが終わりました。

年月日	できごと	年月日	できごと
1943年9月	イタリアの降伏	1945年3月10日	東京大空襲
1944年6月	ノルマンディー上陸	1945年4月1日	アメリカ軍が沖縄本島に上陸
1944年7月	サイパン島の占領	1945年6月23日	沖縄戦の組織的な戦いが終わる

④ 空襲と沖縄戦をくらべる

	空襲	沖縄戦（地上戦）
時期	1944年の終わりからはげしくなった	1945年3月末～6月23日
戦い方	飛行機から爆弾や焼夷弾を落とす	アメリカ軍が上陸し、陸上で戦う
場所	東京・大阪・名古屋など、全国の多くの都市	沖縄の島々。住民がくらす土地が戦場になった

合言葉 「サイパンが落ちて、本土に空襲」

→ まとめ：戦場が本土に近づき、空襲や地上戦で多くの住民がまきこまれた

1 全体像	2・3 大戦の始まり	4・5 太平洋戦争	6・7 戦時下の人々	8・9 戦争の終結	10 原因と影響	11・12 まとめ
-------	------------	-----------	------------	-----------	----------	-----------

9 戦争は、どのように終わった？

このページのゴール ポツダム宣言から降伏までの1945年8月の流れを、日付の順に言える

① ドイツの降伏と、ポツダム宣言

1945年2月、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳が**ヤルタ会談**を開き、ドイツの降伏後にソ連が日本と戦うことを、ひそかに決めました。5月に**ドイツが降伏**しました。

ポツダム宣言＝1945年7月、アメリカ・イギリス・中国の名で発表された、日本に無条件降伏（むじょうけんこうふく。条件をつけずに降伏すること）を求めた宣言

日本は、ポツダム宣言をすぐには受け入れませんでした。

② 1945年8月、何が起こり、戦争はどう終わった？

- ① 8月6日 広島に原子爆弾（原爆）が投下される
- ② 8月8日 ソ連が日ソ中立条約を破って日本に宣戦する（その後、満州・朝鮮・樺太などに侵攻した）
- ③ 8月9日 長崎に原子爆弾が投下される
- ④ 8月14日 日本が、ポツダム宣言を受け入れることを決める
- ⑤ 8月15日 昭和天皇がラジオ放送で、国民に知らせる
- ⑥ 9月2日 日本が**降伏文書**（こうふくぶんしょ）に署名（しゅめい）し、第二次世界大戦が終わる



原爆ドーム（広島平和記念碑）
（広島市 今のようす）
写真：Jakub Halun（CC BY 4.0）。Wikimedia Commons より、白黒にした

原爆は、1発で都市を壊滅（かいめつ）させ、多くの人が亡くなりました。生き残った人も、放射線（ほうしゃせん）による病気に長く苦しみました。

③ ソ連は、なぜ日ソ中立条約を破って宣戦した？

年月	できごと
1941年4月	日本とソ連が、日ソ中立条約（たがいに関立を守る約束）を結ぶ
1945年2月	ヤルタ会談で、ドイツの降伏後にソ連が日本と戦うことを、ひそかに決める
1945年8月8日	ソ連が、約束を破って日本に宣戦する

ソ連は、ヤルタ会談で、ドイツの降伏後に日本と戦うと決めていました。そのため、日ソ中立条約があっても、日本に宣戦したのです。

注意 × 8月15日にポツダム宣言の受け入れを決めた → ○ 8月14日に決め、8月15日に国民に知らせた

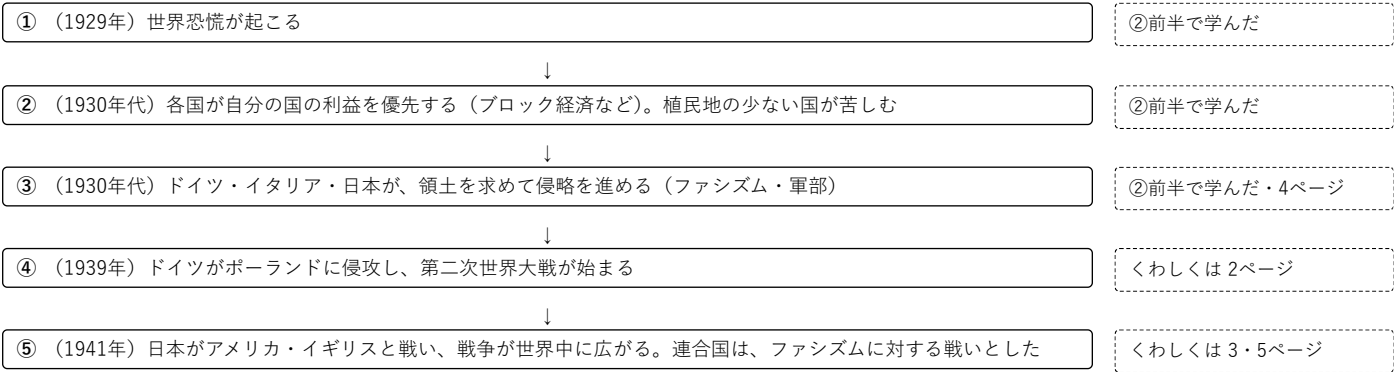
合言葉 「6日広島、8日ソ連、9日長崎、14日決定、15日放送」

→ まとめ：原爆の投下とソ連の参戦のあと、日本は降伏した

10 第二次世界大戦は、なぜ起き、何をもたらした？

このページのゴール 大戦が起きたわけを世界恐慌からつなげて言い、第一次世界大戦とくらべて被害が大きくなったわけを言える

① 大戦が起きた流れ



② 第一次世界大戦とくらべる

	第一次世界大戦	第二次世界大戦
期間	1914～1918年	1939～1945年
始まり	サラエボ事件	ドイツのポーランド侵攻
戦場	主にヨーロッパ	ヨーロッパ・アジア・太平洋・アフリカ北部
被害	主に戦場の兵士	空襲・地上戦・原爆で、多くの住民も犠牲に
終わったあと	国際連盟ができた (①)	国際連合がつくられた (③で学ぶ)

③ 大戦がもたらしたこと

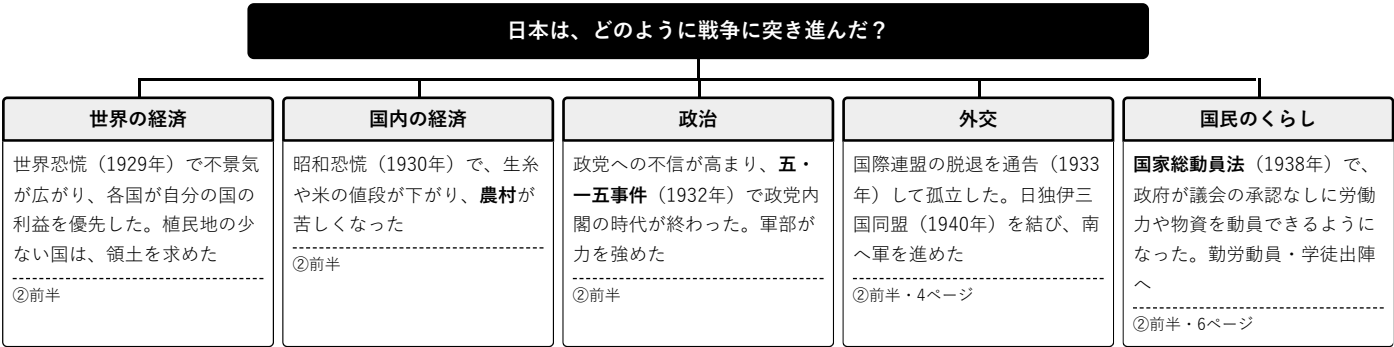
第二次世界大戦は、人類の歴史で最も大きな被害を出した戦争でした。飛行機による空襲や地上戦、原爆で、戦場の兵士だけでなく、多くの住民が犠牲になりました。日本は、中国や東南アジアなど、アジアの国々の人々に大きな被害をあたえ、日本の国民も大きな被害を受けました。戦後、二度と大きな戦争をくり返さないために、国際連合がつくられました (③で学びます)。

→ まとめ：世界恐慌から始まった対立が、住民をまきこむ世界の戦争になった

11 日本は、どのように戦争に突き進んだ？（くま手チャート）

このページのゴール 日本が戦争に向かった理由を、5つの見方に分けて言える

くま手チャートは、柄（え）にあたる問いに、歯（は）にあたる見方ごとに理由を書き出して、答えを考える図です。②前半と②後半で学んだことを、5つの見方に分けて整理しましょう。



問いの答えの例

世界恐慌で不景気が世界に広がると、各国は自分の国の利益を優先しました。日本では昭和恐慌で農村が苦しくなり、政党への不信が高まる中で、五・一五事件のあと軍部が力を強めました。日本は国際連盟を脱退して孤立し、日中戦争が始まると、国家総動員法のもとで、国民全体が戦争に動員されていきました。日中戦争が長引く中で、資源を求めて南へ進み、アメリカとの対立が深まって太平洋戦争が始まりました。

5つの見方は、ほかの歴史の問いにも使えます。「世界の経済」「国内の経済」「政治」「外交」「国民の暮らし」の順に、理由をひとつずつ書き出すと、原因を整理しやすくなります。

答えを書く手順

- ① 歯ごとに、そのページを見て、理由を1つずつ書き出す
- ② 歯と歯のつながり（どれがどれの原因か）を、矢印で見つける
- ③ つながりの順に、1つの文にする

注意 ×理由を1つだけ書く（例：軍部が力を強めたから、戦争に進んだ）→○2つ以上を見方をつなげて書く（例：昭和恐慌で農村が苦しくなり、政党への不信が高まった）

12 大正から昭和の戦争まで、日本と世界はどう変わった？

このページのゴール 1920年代と1930～1945年の日本のちがいを、政治・外交・くらしで言える

① 近代（後半）の大観（たいかん。全体を大きくとらえること）

	1920年代（大正～昭和のはじめ） ①	1930～1945年 ②前半・②後半
政治	政党内閣が続き、普通選挙法（1925年）で選挙権が広がった	五・一五事件で政党内閣の時代が終わり、軍部が力を強めた
外交	国際協調が進み、ワシントン会議などで軍縮が行われた	国際連盟を脱退して孤立し、日中戦争・太平洋戦争へ進んだ
くらし	大衆の文化が広がった	国家総動員法・大政翼賛会のもと、勤労動員・学徒出陣など、戦争に動員された

この変化の大きなきっかけの一つは、世界恐慌と昭和恐慌による不景気でした。不景気で政党への不信が高まり、軍部が力を強めたことで、国際協調から戦争へと進んでいきました。

② 年表（1914～1945年）

年	できごと	年	できごと
1914年	第一次世界大戦が始まる（①）	1939年	第二次世界大戦が始まる（2）
1919年	ベルサイユ条約（①）	1940年	日独伊三国同盟（4）・大政翼賛会（②前半）
1920年	国際連盟ができる（①）	1941年	大西洋憲章・太平洋戦争が始まる（3・5）
1925年	普通選挙法（①）	1943年	イタリアが降伏・学徒出陣（6・8）
1929年	世界恐慌が始まる（②前半）	1944年	サイパン島の占領・学童疎開（6・8）
1931年	満州事変（②前半）	1945年3月	東京大空襲（8）
1933年	国際連盟の脱退を通告（②前半）	1945年8月	広島・長崎に原爆・ポツダム宣言の受け入れ（9）
1937年	日中戦争が始まる（②前半）	1945年9月	降伏文書に署名・大戦が終わる（9）

年表の読み方：まず1929年の世界恐慌に印をつけます。その前（①）は国際協調と政党内閣の時代、その後は戦争へ進む時代です。さらに、1939年と1941年は、戦争が広がった節目として読みます。

③ 現代とのつながり

戦争の反省から、戦後の日本は平和主義を大切にようになりました（③・公民で学びます）。戦争が何をもたらしたかを知ることが、今の平和を守ることにつながります。

合言葉 「1920年代は協調、1930年代は戦争へ」

確認問題① 大戦の始まりと広がり・太平洋戦争の開始

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 大戦の始まりと広がりについて答えなさい。【2・3ページ】

- (1) 1939年8月、ドイツがポーランドに攻めこむ前に、東の大国と結んだ「たがいに攻めない」という約束を何とといいますか。 _____
- (2) ドイツがポーランドに攻めこんだあと、ドイツに宣戦した2つの国を選びなさい。
ア アメリカと中国 イ イタリアと日本 ウ イギリスとフランス エ オランダとベルギー _____
- (3) 1941年6月、ドイツが条約を破って攻めこんだ国はどこですか。 _____
- (4) 1941年8月、アメリカとイギリスの首脳が発表し、領土を広げないことや戦後の平和のしきみをつくることを示したものを何とといいますか。 _____
- (5) ドイツが占領地で、ユダヤ人などを送り、多くの人々を殺害した施設を何とといいますか。 _____
- (6) 日本・ドイツ・イタリアの側の国々のよび名を選びなさい。
ア 中立国 イ 枢軸国 ウ 協商国 エ 連合国 _____

2 太平洋戦争の開始について答えなさい。【4・5ページ】

- (1) アメリカやイギリスが、重慶の国民政府に物資を送った道を何とといいますか。 _____
- (2) 1940年9月、日本がヨーロッパの2つの国と結び、アメリカに対抗しようとした軍事同盟を何とといいますか。 _____
- (3) 1941年10月に首相になり、アメリカ・イギリスとの戦争を決めた陸軍の大將はだれですか。 _____
- (4) 1941年12月8日、日本軍がハワイの真珠湾の攻撃と同じ日に上陸した、イギリス領の地域はどこですか。 _____
- (5) 「日本を中心にアジアの国々が共に栄える」として、日本がかかげたものを何とといいますか。 _____
- (6) 1942年6月、日本の海軍が敗れ、戦争の流れが変わった戦いを何とといいますか。 _____
- (7) 日米交渉でアメリカが日本に求めたことを選びなさい。
ア 東南アジアのほかの国々にも、軍を進めること
イ 中国にいる軍の数を増やして、戦争を広げること
ウ 中国とフランス領インドシナから、軍を引きあげること
エ ドイツ・イタリアとの同盟を、さらに強めること _____

確認問題② 戦時下の人々・戦争の終結

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

3 戦時下の人々について答えなさい。【6・7ページ】

- (1) 東京で子どもだったMさんの祖父は、空襲をさけるため、通っていた学校の友だちや先生といっしょに、地方の寺に移って暮らしました。この行動を何といいますか。

- (2) 文科系の大学で学んでいたMさんのおじは、1943年、それまで猶予されていた兵役につき、軍隊に入りました。この動きを何といいますか。 _____
- (3) 戦争中の国内のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 米や砂糖は、店で好きなだけ買うことができた
イ 鍋や寺の鐘などの金属が回収され、武器の材料にされた
ウ 新聞やラジオは、負けた戦いも国民に正しく知らせた
エ 中学生や女学生は、授業のかわりに工場で働くことはなかった _____
- (4) 戦争の末期に朝鮮や台湾でもしかれ、若い男性が日本の兵として戦場に送られた制度を何といいますか。 _____
- (5) 戦争が長引くと、多くの朝鮮人や中国人が日本に連れてこられ、鉱山や工場で働かされました。それはなぜですか。「戦場」「労働力」の2つの語を使って書きなさい。

- (6) 1941年から、小学校は何とよばれるようになりましたか。 _____

4 戦争の終結について答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 1943年9月に、連合国に降伏した枢軸国の国はどこですか。 _____
- (2) 1945年4月、アメリカ軍が本島に上陸し、中学生や女学生も動員されて、6月まで住民をまきこむ戦いが続いた県はどこですか。 _____
- (3) ポツダム宣言を発表した国の組み合わせを選びなさい。
ア アメリカ・フランス・オランダ イ イギリス・ドイツ・中国
ウ アメリカ・イギリス・中国 エ フランス・オランダ・ベルギー _____
- (4) 原子爆弾について正しいものを選びなさい。
ア 1945年3月に、東京と大阪に投下された
イ 1944年に、サイパン島に投下された
ウ 1945年5月に、ドイツに投下された
エ 1945年8月に、広島と長崎に投下された _____
- (5) 1945年2月、ドイツの降伏後にソ連が日本と戦うことを、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳がひそかに決めた会談を何といいますか。 _____
- (6) 1945年8月15日、ラジオ放送で日本の降伏を国民に知らせた人はだれですか。 _____
- (7) 日本が降伏文書に署名し、第二次世界大戦が終わった日を選びなさい。
ア 1945年8月6日 イ 1945年9月2日 ウ 1945年5月8日 エ 1941年12月8日 _____

確認問題③ 原因ともたらしたこと・年表・まとめ

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

5 原因ともたらしたことについて答えなさい。【3・8・9・10ページ】

- (1) 連合国は、この戦争を何に対する戦いとなりましたか。
ア ファシズム イ 議会政治 ウ 国際協調 エ 植民地の独立 _____
- (2) 第一次世界大戦とくらべた、第二次世界大戦のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 戦場はヨーロッパだけに限られた
イ 戦場の兵士のほかには、犠牲は出なかった
ウ 戦場が、アジアや太平洋にも広がった
エ 戦争が終わったあとに、国際連盟がつくられた _____
- (3) 第二次世界大戦の被害が、第一次世界大戦より大きくなったのはなぜですか。「空襲」「住民」の2つの語を使って書きなさい。

6 年表で確かめる。【1・12ページ】

- (1) 次のア～エを、古い順に並べなさい。 _____
ア 日独伊三国同盟が結ばれる イ 学徒出陣が始まる
ウ ドイツがポーランドに侵攻する エ ミッドウェー海戦が起こる
- (2) 大西洋憲章が発表された年を選びなさい。
ア 1939年 イ 1933年 ウ 1945年 エ 1941年 _____
- (3) 1920年代の日本のようすとして正しいものを選びなさい。
ア 政党内閣が続き、国際協調が進んだ イ 日中戦争が始まり、戦争が長引いた
ウ 大政翼賛会がつくられ、軍部が力を強めた エ 学童疎開で、子どもが地方に移った _____

7 まとめ。【11・12ページ】

日本は、どのように戦争に突き進んだ？ ― くま手チャートの一部
世界の経済：不景気が世界に広がり、各国が自分の国の利益を優先した
国内の経済：生糸や米の値段が下がり、(A) が苦しくなった
政治：(B) で政党内閣の時代が終わり、軍人が政治に大きな力をもった
外交：国際連盟を脱退して孤立し、南へ軍を進めた
国民のくらし：(C) で、政府が議会の承認なしに労働力や物資を動員できるようになった

- (1) 上の文の A にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (2) 上の文の B にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (3) 上の文の C にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (4) 日本が戦争を広げていった流れを、「世界恐慌」「軍部」の2つの語を使って書きなさい。

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

大戦の始まりと広がり（2・3ページ）

独ソ不可侵条約（1939年8月。ドイツとソ連のたがいに攻めない約束）→ 9月1日にドイツがポーランドに侵攻 → イギリス・フランスが宣戦 → 第二次世界大戦。1940年6月、ドイツがパリを占領。1941年6月、独ソ戦（ドイツがソ連に侵攻）。8月、大西洋憲章（領土を広げない・その国の政治はその国の人々が決める・戦後の平和のしくみをつくる）。12月、戦争が世界中に広がる。枢軸国（日本・ドイツ・イタリアなど）と連合国（アメリカ・イギリス・ソ連・中国など）。連合国はファシズムに対する戦いとした。ドイツは占領地のユダヤ人などを強制収容所（アウシュビッツ）に送り殺害。占領された国々で抵抗運動（レジスタンス）。

太平洋戦争の開始（4・5ページ）

援蒋ルート（アメリカ・イギリスが重慶の国民政府に物資を送った道）。南進（援蒋ルートを断ち切る・石油やゴムなどの資源を手に入れる）。1940年9月、フランス領インドシナの北部に軍を進める・日独伊三国同盟（アメリカとの関係が悪化）。1941年4月、日ソ中立条約（北方の安全を確保）。7月、フランス領インドシナの南部に軍を進める。8月、アメリカが日本への石油の輸出を禁止・イギリスやオランダも貿易を制限 → ABCD包囲陣。10月、東条英機内閣。12月8日、マレー半島に上陸・真珠湾を奇襲攻撃 → 太平洋戦争。大東亜共栄圏（日本を中心に共に栄える）。開戦から約半年で東南アジアから南太平洋を占領（石油・鉄鉱石・ボーキサイトを輸入にたよっていたため）。1942年6月、ミッドウェー海戦で敗れ、流れが変わる。

くま手チャートの5つの見方（11ページ）

世界の経済（世界恐慌・ブロック経済）／国内の経済（昭和恐慌で農村が苦しくなる）／政治（五・一五事件で政党内閣が終わり、軍部が力を強める）／外交（国際連盟の脱退・日独伊三国同盟・南進）／国民のくらし（国家総動員法・勤労動員・学徒出陣）

年表（12ページ）

年	できごと	年	できごと
1939年	第二次世界大戦が始まる	1943年	イタリアが降伏・学徒出陣
1940年	日独伊三国同盟	1944年	サイパン島の占領・学童疎開
1941年	日ソ中立条約・太平洋戦争	1945年	沖縄戦・原爆・降伏

合言葉

条約で東を安心、そしてポーランドへ／枢軸はドイツ・イタリア・日本／サイパンが落ちて、本土に空襲／6日広島、8日ソ連、9日長崎、14日決定、15日放送

戦時下の人々（6・7ページ）

総力戦（国民全体と全部の産業を戦争に注ぎこむ）。配給制の品が増え量も減る・金属の供出（鍋・釜・寺の鐘）・国民学校（1941年）。勤労動員（中学生・女学生が軍需工場で働く）・学徒出陣（1943年。文科系の大学生などが軍隊へ）・学童疎開（1944年。国民学校の子どもが学校ごとに地方へ）。男性が兵に → 労働力不足 → 朝鮮人・中国人が意思に反して日本へ連れてこられ、鉱山や工場で働く。戦争の末期、朝鮮・台湾でも徴兵制。東南アジアの占領地では抵抗運動。

戦争の終結（8・9ページ）

1943年9月、イタリアが降伏。1944年6月、ノルマンディー上陸。7月、サイパン島が占領され本土が爆撃機のとどく範囲に → 空襲。1945年3月10日、東京大空襲。4月1日、沖縄本島に上陸 → 地上戦（ひめゆり学徒隊）→ 6月23日に組織的な戦いが終わる。1945年2月、ヤルタ会談（ドイツの降伏後にソ連が日本と戦うことを決める）。5月、ドイツが降伏。7月、ポツダム宣言（アメリカ・イギリス・中国の名で無条件降伏を求める）。8月6日 広島に原爆 → 8日 ソ連が宣戦 → 9日 長崎に原爆 → 14日 受け入れを決定 → 15日 昭和天皇のラジオ放送。9月2日、降伏文書に署名。

原因ともたらしたこと（10～12ページ）

世界恐慌 → ブロック経済 → 領土を求めた侵略 → 大戦。戦場が広く、空襲・地上戦・原爆で多くの住民が犠牲に。戦後、国際連合（③）。

確認問題の答えと解説

1【2・3ページ】

- (1) 独ソ不可侵条約 (2) ウ
(3) ソ連 (4) 大西洋憲章
(5) 強制収容所 (6) イ

1939年8月、ドイツは東のソ連と独ソ不可侵条約（たがいに攻めない約束）を結び、9月1日にポーランドに侵攻しました。ドイツに宣戦して第二次世界大戦が始まったのは、イギリスとフランスです（アメリカは1941年12月、日本とイタリアはドイツの側）。1941年6月、ドイツはこの条約を破ってソ連に侵攻しました。大西洋憲章は、1941年8月にアメリカのローズベルト大統領とイギリスのチャーチル首相が発表し、領土を広げないことや戦後の平和のしくみをつくることなどを示しました。強制収容所は、ドイツが占領地でユダヤ人などを送った施設です（アウシュビッツなど）。日本・ドイツ・イタリアなどの側が枢軸国、アメリカ・イギリス・ソ連・中国などの側が連合国です。【2・3】

2【4・5ページ】

- (1) 援蒋ルート (2) 日独伊三国同盟
(3) 東条英機 (4) マレー半島
(5) 大東亜共栄圏 (6) ミッドウェー海戦
(7) ウ

援蒋ルートは、アメリカ・イギリスが重慶の国民政府に物資を送った道で、日本はこれを断ち切るため南進しました。1940年9月、日本はドイツ・イタリアと日独伊三国同盟を結び、アメリカに対抗しようとしてしました。東条英機は、1941年10月に首相になった陸軍の大將です。12月8日、日本軍はイギリス領のマレー半島に上陸し、真珠湾を奇襲攻撃して太平洋戦争が始まりました。大東亜共栄圏は、日本を中心にアジアの国々が共に栄えるとして日本がかかげたものです。1942年6月のミッドウェー海戦で日本の海軍が敗れ、戦争の流れが変わりました。日米交渉で、アメリカは日本に、中国とフランス領インドシナから軍を引き上げることを求め、交渉はまとまりませんでした。【4・5】

3【6・7ページ】

- (1) 学童疎開（集団疎開） (2) 学徒出陣
(3) イ (4) 徴兵制
(5) 〈例〉日本の男性が兵として戦場に行き、国内の労働力が足りなくなったから。
(6) 国民学校

都市の国民学校の子どもが、空襲をさけるために学校ごと地方の寺や旅館などに移った（1944年から）のが学童疎開です。文科系の大学生などが、それまで猶予されていた兵役につき軍隊に召集されたのが学徒出陣です（1943年から）。戦争中は、鍋や寺の鐘などの金属が回収されて武器の材料にされました（ほかの選択肢は、配給制・政府の発表だけを伝える新聞やラジオ・勤労働員に反しています）。徴兵制は、戦争の末期に朝鮮や台湾でもしられました。記述の採点のめやす：「戦場」「労働力」の両方を使って、男性が兵として戦場に行き、国内の労働力が足りなくなったことが書けていれば正解。1941年に小学校は国民学校になりました。【6・7】

4【8・9ページ】

- (1) イタリア (2) 沖縄県
(3) ウ (4) エ
(5) ヤルタ会談 (6) 昭和天皇
(7) イ

1943年9月にイタリアが降伏しました。1945年3月末から沖縄の島々にアメリカ軍が上陸し、4月1日に沖縄本島に上陸して、住民をまきこむ地上戦が約3か月続きました（中学生や女学生も動員されました）。ボツダム宣言は、アメリカ・イギリス・中国の名で発表されました。原子爆弾は、1945年8月6日に広島、9日に長崎へ投下されました（東京大空襲は焼夷弾による空襲、ドイツの降伏は1945年5月です）。ヤルタ会談で、ドイツの降伏後にソ連が日本と戦うことが決まりました。8月15日、昭和天皇がラジオ放送で国民に知らせました（受け入れの決定は14日）。降伏文書への署名は9月2日で、これで大戦が終わりました。【8・9】

5【3・8・9・10ページ】

(1) ア (2) ウ

(3) (例) 飛行機による空襲や地上戦、原爆で、戦場の兵士だけでなく多くの住民がまきこまれたから。

連合国は、この戦争を、ファシズムに対する（民主主義を守る）戦いとし（3・10ページ）。第二次世界大戦は、戦場がヨーロッパ・アジア・太平洋・アフリカ北部に広がりました（第一次世界大戦は主にヨーロッパ。国際連盟がつくられたのは第一次世界大戦のあとです）。記述の採点のめやす：「空襲」「住民」の両方を使って、空襲・地上戦・原爆で多くの住民がまきこまれたことが書けていれば正解。【8・9・10】

6【1・12ページ】

(1) ウ → ア → エ → イ

(2) エ (3) ア

ポーランド侵攻（1939年）→ 日独伊三国同盟（1940年）→ ミッドウェー海戦（1942年）→ 学徒出陣（1943年）の順です。大西洋憲章は1941年8月に発表されました。1920年代は政党内閣が続き、国際協調が進んだ時代です（日中戦争・大政翼賛会・学童疎開は、1930年代以降です）。【1・12】

7【11・12ページ】

(1) 農村（農家・農民も正解） (2) 五・一五事件

(3) 国家総動員法

(4) (例) 世界恐慌で不景気になり、政党への不信が高まる中で軍部が力を強め、中国や東南アジアへ勢力を広げて戦争を広げていった。

昭和恐慌では生糸や米の値段が下がって農村が苦しくなり、五・一五事件で政党内閣の時代が終わりました。国家総動員法は、政府が議会の承認なしに労働力や物資を動員できるような法律です。記述の採点のめやす：「世界恐慌」「軍部」の両方を使って、不景気の中で軍部が力を強め、戦争を広げていったことが書けていれば正解（11・12ページ）。

【11・12】